

第2期 国分寺市公民館運営審議会 平成30年度第9回定例会 要点記録

日 時 平成30年6月25日（月） 午後2時～午後4時

場 所 本多公民館2階講座室

出席者

■委 員 佐藤(一)委員長・田中(英)副委員長・木下委員・長谷部委員・高塚委員・萩原委員・戸澤委員・藤原委員・松井委員・大内委員
(欠席：2名)

■職 員 山崎公民館課長兼本多公民館長・野中恋ヶ窪公民館長・久保光公民館長・豊泉もとまち公民館長・本望並木公民館長・木場本多公民館事業係・櫻井本多公民館事業係

■傍聴者 なし

1 連絡事項

(1) 配布資料確認

(2) 第8回定例会要点記録確認⇒承認

2 報告事項

(1) 平成30年国分寺市教育委員会第5回定例会について

事務局：資料1に基づき説明。

(2) 平成30年国分寺市市議会第2回定例会文教子ども委員会について

事務局：資料2に基づき説明。

(3) 東京都公民館連絡協議会について

委員：委員部会の第1回研修会が決定した。平成30年9月1日(土)午後2時から午後4時、町田市生涯学習センターにて、千葉大学名誉教授長澤成次先生を招き「文部科学省組織改編と公立社会教育施設の所管問題から見える今後の公民館をめぐる課題」というテーマで行う予定である。ぜひ参加をお願いしたい。また、町田市民から成る生涯学習センター運営協議会より、地域の施設として運営していく上でのこれからを考えた「生涯学習センターの役割と機能」が出ている。町田市ホームページからも見ることができる。

3 協議事項

(1) 諮問：国分寺のまちを学び共に創りだす公民館活動の今後について

委員長：「資料3」と別紙「ワーキンググループのメンバーについて」を基にグループ討論を行う。第1グループでは「サードエイジ」の地域参加デビューと「未利用者」のテーマ、第2グループでは「異世代交流」や子どもを主役とした地域活動のテーマで、これから提案していただく内容となる。すでに5館とも子どもに関する事業を行っているが、事例を交えながら、新たに必要なこ

とや全市的に盛り上げていくのが良いと思うことを考えていただきたい。また第1期の答申では、歴史を振り返り、地域づくりに対して公民館がこれだけの蓄積を持っているということを共有した。それを受けてさらに公民館運営審議会として提言していく上で、どういうテーマが良いだろうかという議論をしていく。視察の中で、まだ公民館利用が市民全体のものになっていないので、少しでも幅広い市民の参加を得るためにどうすればいいのだろうかという話になった。幅広い市民の参加、未利用者への働きかけといった時に、この二つの柱に絞り込んで議論をしてはどうかということでこのグループ分けになった。この両方に重なり合う問題もあり、さらに地域単位で両方を取り込む作業も必要になってくる。全国的にもさまざまな問題が議論されているので、課題も勉強しながら、日本社会、地域社会の現状をふまえた上での提案を議論していただきたい。今日の討論の資料として2点配付する。ひとつは、水谷公民館富塚館長(当時)が書いた“高齢者の気楽な居場所”としての「古くて新しい居場所づくり」。もうひとつは、葛飾区民カレッジが区民に呼びかけ、公募で5,000通集まった中から50に絞り込む作業をし、切り絵作家に原画を描いてもらい完成させた「かつしか郷土かるた」についてである。その原画展も開催され素晴らしかった。地区の青少年委員会が子どもたち(小学3年生・4年生)のかかるた大会を開催している。学校でもふるさと学習の教材に使用している。国分寺市にもかるたが今までにいくつかあったそうだが、どういった形で子どもたちがそれを楽しむかという仕組み作りがないと普及せずもったいない。つくる過程も楽しいし、それを使って行うかるた大会や展示会、いろいろな方法があることを参考にしていきたい。今後資料を皆さんの手元に届けたいと思っている。他の自治体で行っていることや先日視察した杉並区の「杉並大人塾」など、かなり凝った取り組みもある。それを参考に、何が足りないか、どうしたら次の新しい動きをつくっていけるか、事業や仕組みづくりの提案を各々のワーキンググループから出していただきたいと思う。なぜそういうことが必要なのかという説明など、順次提案文書をつくっていくなかで、背景の理論づけとしていろいろな資料を参考に書いていただければと思う。グループ討論では、テーマはどのような問題なのか、国分寺市の公民館の働きかけが必要な実態的な部分、自分の足元の地区での取り組み、また他の事例なども出し合い、アイデアや新規事業とか新しい組織作りとか、どのように呼びかけていくかというところまでまとめていただきたい。今日はまず(1)と、各自持ってきている事例で交流していただきたい。次回の審議会に最初の提案をしていくために、各グループ2回程自主的な集まりを持っていただきたい。9月10日は中間報告まではいかなくても良いが、今こういう視点でこんな議論が進んでいるということが報告できるように進めていただきたい。そのために、国分寺市のデータを集める等も必要かと思う。役割を決めて持ち寄りながらグループ討議を開催していただければと思う。こちらからも事務局を通じて資料をお渡しする。10月

には、新規事業としてこういうことをやってみたらどうかというところまで進めた議論をしていきたい。11月から12月については、執筆分担や答申内容を意識した文章化の最初の取り組みを始め、全体構成を決めて、来年になってから答申の文章づくりに本格的に取り掛かり、そのつど読み合わせをしながら要所を整理していくことになるだろう。まずは9月10日までに“国分寺市の次の一步”を、漠然としたもので良いのでワーキンググループとしての提案ができるようにしていただきたい。今後の日程も調整していただきたい。本日の確認をした内容の報告を最後に各々のグループにさせていただく。

事務局：職員の割り振りは、第1グループが野中恋ヶ窪公民館長、豊泉もとまち公民館長、本望並木公民館長。第2グループは久保光公民館長、木場本多公民館事業係員が入る。

【ワーキンググループでの話し合い】

委員：第1グループでは、ざっくばらんに全員から意見をいただいた。市民にむけてどのように広報をするか、やはり公民館だより「けやきの樹」を見る人は多いのではないかと、その情報から講座に参加してもらい、そこから人と人とのつながりが生まれてくると思う。インターネットやチラシも含めて、広報の部分を考えていく必要があるのではないかと考えた。また、人と人とのつながりをどう捉え、どうつなげ、広げていくのかということも、これからつめていこうという話になった。あとは、公民館の場所をどう活用していくかという話や、地域性も考慮しながら市民の声や関心事をどう吸い上げていくかということも意見としてあった。職員より、講座の開き方の視点の重要性、グループ活動をする上での長期講座の必要性についての話もあった。次回は7月23日(月)午後3時30分から5時30分、本多公民館で行う。収集予定資料としては、隣接する市の公民館だより及び市報、国分寺市の年代別の人口、国分寺市内各施設の利用状況と利用率を用意してもらうことになった。

委員：第2グループでは、皆から意見を聞くというかたちで進めた。子どもから青年や多世代交流というテーマで、各委員が関わっている現場の子どもたちの実態や心配事等、さまざまな視点から意見が出て、たいへん興味深いものとなった。その中で、学校については現在いじめについてのアンケートを学期に1回行っていて、教師がきめ細やかな対応と分析をしていることは非常に有効だとは思いますが、教師側の負担になりかねないという話があった。本来であれば保護者同士で解決できるような案件も、保護者のつながりの希薄さから学校に押し付けられているのではないかと、そのような部分がこの20年で変わってきていることではないかという話がされた。学校の保護者会は、子どもに関する困り事を共有する場だったと思うが、今は形式だけになっていて、悩み事は自己解決するような保護者も増え、なかなか悩みを共有できなくなっている実態がある。不登校や特別な支援が必要な子を持つ当事者や、そのような子とどう関わったらいいいのかという周囲の保護者の悩みが、今の保護者の間でとても関心のあるテーマになっている。そのような部分を公民館と

一緒に解決していくような事業はできないか具体的な話もした。それも含め「多様性」というキーワードが出た。外国人が増えたこと、障害の有無等をマイノリティの問題にせず、社会全体で解決していくということを公民館で取り組んでいくことはできないか。また、子どもの居場所に公民館も入ってほしいと思っている。学童の過密状態、母親の愛情について等具体的な話もでた中で、子どもと子どもを取りまく環境について、次回以降は公民館は何ができるかということ話し合いたい。次回は7月3日(火)10時から正午と8月29日(水)10時から正午に、いずれも本多公民館で行う。

委員長：大きな課題がグループのテーマになっていると感じる。例えば学童の過密状態についてなども、実態の資料があると良いのではないかと。具体的な提案にまとめれば、新しい視点が出てくるのではないと思う。9月10日には各グループで中間的な報告ということで、問題状況と公民館が何をしていけばいいのかというアイデア段階のようなものを全体協議にかけたいと思っている。少し長めの報告を各グループでしていただければと思う。

4 その他

事務局：10月以降の日程、また館内研修・管外研修について検討していただきたい。

委員長：研修については事務局と正副委員長で調整する。来年1月頃を予定する。

高齢者と子育て世代、両方の話が聞けるような視察先を検討する。

事務局：ワーキンググループごとに分かれて2か所行くことも可能。相談させていただく。

委員長：10月については、10月22日(月)16時30分から18時30分とする。次回は、各ワーキンググループの報告と視察先検討の準備となる。以上で第9回定例会を終了する。